

3商工会議所（新潟・新津・亀田）合同で 新潟市の政策に対する要望書を提出 11月21日

当所と新津、亀田の3商工会議所は合同で、中原八一・新潟市長並びに古泉幸一・新潟市議会議長に対し、「令和5年度新潟市の政策に対する要望書」を提出しました。要望書を受け取った中原市長は「感染拡大や物価高騰といった厳しい状況が続いているが、今回の要望を受け止め、新潟経済の発展に向け、国や県と連携しながら取組を進めていきたい」と述べました。（重点要望は以下の通り）

I. 地域中小企業・小規模事業者の活性化・生産性向上に向けた支援策の充実・強化

1. 地域中小企業・小規模事業者への支援策の強化と対策予算の拡充
2. ウィズコロナ・アフターコロナに向けた経済対策の充実・強化
3. 地元建設業者への支援
4. 中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進
5. 中小企業強靱化法の事業継続力強化支援事業に伴う体制強化
6. 創業サポート事業における子育て女性・シニア支援枠の創設
7. 事業承継対策や引継支援策の拡充・強化
8. 中小企業の資金調達の円滑化に向けた金融支援
9. 中小企業・小規模事業者の生産性向上に向けた中小企業等経営強化法の周知及び活用促進
10. 地域の雇用創出に向け積極的に取り組む企業に対する支援強化・拡充
11. 産学官金連携による地域産業の活性化
12. 市産品の県内需要の喚起と国内外への販路開拓に対する支援
13. 国家戦略特区の効果を活かした地域の新しい価値の創出
14. 固定資産税及び事業所税における中小企業への税制面の見直し及び軽減

II. まちづくりの推進及び交流人口の増加に向けた対応強化

1. 古町地区における活性化策の推進
2. 中心市街地の居住人口及び就労人口増加に向けた支援
3. 「古町芸妓」・「古町花街」の存続に向けた支援体制の強化

4. 中心市街地及び地域商店街の魅力づくりに向けた総合的支援施策の強化

III. 政令指定都市・新潟の拠点性向上に向けた積極的な対応

1. 拠点性を高める大規模開発を可能とする積極的な土地利用の展開
2. 「にいがた2km」における活性化策の推進
3. 新潟港の活性化
4. 新潟空港の活性化
5. 新潟駅の周辺整備事業の促進
6. 地域の魅力発信及び観光振興施策の推進
7. 都市内交通の充実
8. 災害に強い安心・安全なまちづくりの推進
9. 社会資本整備の充実及び公共事業・公共投資の拡充強化
10. 賑わい創出による地域活性化に向けた支援強化
11. 国際都市として飛躍するための国際経済交流の推進
12. 2050ゼロカーボンシティ宣言都市としての取組強化
13. 地域経済発展に向けたSDGsへの取組と機運醸成

※要望書の詳しい内容は当所ホームページをご覧ください。



左から前田会頭（新津）・福田会頭（新潟）・中原新潟市長・五十嵐会頭（亀田）

顧問先企業 290社以上
顧問相談実績 1300件以上
地元新潟で 44年
※2021年実績

トラブル解決からリーガルチェック・紛争予防までワンストップサポート

弁護士法人 一新総合法律事務所
ISSHIN PARTNERS
新潟県弁護士会所属 <新潟県庁近く・無料駐車場あり>

顧問契約・企業法務のご相談は ☎ 0120-15-4640

BSN70th

走り出せ、夢たち。

不動産鑑定・コンサルティング

◆ 売買・交換・担保・質貸・M&A・相続・事業承継対策。
◆ 任意整理・債権譲渡・訴訟・現物出資・時価減損会計。

不動産鑑定士 伊藤 正弘

株式会社 北辰鑑定リサーチ

新潟市中央区学校町通2番町598番地32
Tel 025-222-2134
Fax 025-222-2133 E-mail:hokushin@hokushin.info

変化の最先端で
課題の最先端で
成長の最先端で
時代の最先端で

ITソリューションパートナー

BSNアイネット

新潟市中央区米山2丁目5番地1
TEL: 025-243-0211

社会保険労務士法人
西山経営労務事務所

賃金を診る 経営を診る

中小企業の実在賃金の水準の決め方
中途入社の方の賃金・給与水準表の作成
経営内容に沿った「賃金表」・賃金規程・就業規則

〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14 和合ビル2F
(駐車場多数完備 快活倶楽部さまのあるビルの2F かつやさまのある駐車場です)

TEL025-256-8373 FAX025-256-8374 hk3330@sky.plala.or.jp

三条・燕が世界に誇る匠の技を体感

～金融業部会（殖栗道郎部会長）～

10月26日（参加者26名）



三条、燕方面への視察見学会を開催し、鍛造製品製造の総合メーカーである北陸工業(株)と、世界最高品質の銅器を製造する(株)玉川堂を訪れました。北陸工業(株)では、国内でも有数の大型ハンマーを扱う工場内部を見学。同社の強みである、設計から金型製作、鍛造、熱処理、機械加工、検査まで一貫した生産ラインによる

完見を確認しました。(株)玉川堂では、どのような経緯で銅器が作られるようになったのか、時代の流れの中で製品のどこに価値を置いてきたのかなどについて説明を受け、その後作業場を見学しました。ひとつひとつ職人の手作業で作られていく様子を視察。この日は普段なかなか見ることのできない、着色作業と最後の検品・出荷作業までを見ることができました。



東京港、鉄道貨物の物流拠点を見学

～輸送業部会（黒沼仁志部会長）～

11月2日（参加者13名）

東京港や東京貨物ターミナル駅等を視察見学しました。

日本郵船東京コンテナ・ターミナルでは、ガントリークレーンが稼働している様子や、整然と並んだコンテナの様子などを屋上から見学しました。荷積みや積み下ろし等の各種作業は、コンピューターシステムによって効率的にプランニングされているとの説明がありました。

東京貨物ターミナル駅では、実際に駅構内で貨車に積み込まれる前のコンテナ等を見学するとともに、モーダルシフト（トラック等で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へ転換すること）について理解を深めました。加えて、鉄道貨物輸送は定



時運行で全国へ大量輸送ができ、トラックドライバー不足の解消にも繋がるといったメリットがあると説明を受けました。

さらに、今年7月に開業した、最新の物流施設である東京レールゲートEASTでは、荷積作業等の効率化のため、トラックが倉庫まで直接アクセスできるようになっている様子を見学しました。

参加者からは「業務の内容についてイメージできた」「コンテナヤードや貨物ターミナルの現場を見ることができ、貴重な機会となった」などの意見が寄せられました。



完成間近の阿賀野バイパスと歴史ある老舗を見学

～建設・不動産部会（本間達郎部会長）～

11月9日（参加者20名）

阿賀野市での視察見学会を開催し、阿賀野バイパス開通に合わせて今年8月にオープンした「道の駅あがの」、12月4日

に完成を間近に控えた「阿賀野バイパス工事現場」、注ぎ染めという昔ながらの技法を用い、創業から274年続く「越後亀紬屋 藤岡染工場」、さらに、6代目「和」担当の父と、7代目「洋」担当の息子がタッグを組む老舗菓子店「御菓子司 最上屋」を見学しました。

道の駅あがのでは、各施設がどのような役割を果た



しているのか説明を受けました。阿賀野バイパスでは、開通前の国道を実際に歩き、バイパスが開通することで期待される効果などについて説明がありました。

藤岡染工場では、生地から1つの商品が完成するまでの実際の作業を見学。最近ではインスタグラムで積極的に商品の情報を発信しており、反響は大きいとのこと。最上屋は、個人店舗では珍しい「和」と「洋」どちらも取り揃えた豊富なラインナップが特徴的でした。



モノづくりのまち富山を視察 ～情報・サービス業部会（梅津雅之部会長）～ 11月15日、16日（参加者12名）

富山県の鋳物メーカー(株)能作や若鶴酒造(株)の三郎丸蒸留所等を視察見学しました。100年余りの歴史を持つ(株)能作では、高岡市の鋳物製作の歴史と時代のニーズに合わせて開発された自社ブランド製品のインテリア用品やテーブルウェアについて説明を受けながら、商業観光の機能を持たせた工場兼社屋を視察しました。

また、若鶴酒造(株)では、世界初の高岡銅器鋳造による蒸留器「ZEMON」の開発背景やウイスキーの原料であるモルトから原酒ができるまでの製造過程を五感で楽しみ、富山県のモノづくりの技術と文化に触れる

ことができました。



令和5年度税制改正及び事業承継税制に関する研究会 ～企業経営委員会（木山光委員長）～ 11月9日（参加者10名）

日本商工会議所 産業政策第一部 課長 鶴岡 雄司氏と中村 怜生氏を講師に「令和5年度税制改正に関する意見内容と事業承継税制について」の研究会を開催しました。

今回は、コロナ禍や物価上昇等で厳しい経営環境に直面している中、経済社会を支える中小企業の意義を再認識し、経済成長の源泉として位置付ける必要があるとする要望内容を説明いただくとともに、中小企業の自己変革への挑戦や地方創生と内需拡大を後押しする税制および事業承継税制について意見交換を行いました。



フードメッセinにいがたに当所支援ブースが出展 11月9日～11月11日

14回目を迎えた「フードメッセinにいがた2022」が朱鷺メッセで開催され、当所が支援した会員事業所3社が



ブース出展を行いました。今回は昨年より80者多い404事業者(376小間)が出展。商品バイヤーを中心に3日間で9,159人が来場し、活発な商談が行なわれました。

当所が支援した事業所は、アフターコロナを見据えた販路開拓に向け、自社の商品・サービスを積極的にPRしました。

SNS活用研修会を開催 11月2日（参加者12名）

万代シテイ商店街振興組合との共催で、SNS活用研修会をグローバルマーケティング(株)コンサルティング部の佐藤 康子氏を講師に迎え、〈入門編〉として開催しました。まずは自社のターゲットや利用目的を明確にし、それに合わせて利用するSNSを選ぶ必要があるとしたうえで、各SNSの特徴や機能について説明がありました。

また、運用のためのルール作りやコツの説明もあり、参加者からは、「具体的な内容だったため自社で取り入れるイメージが湧いた」などの感想が寄せられました。

来年1月にも〈入門編〉と〈実践編〉の2種類の研修会を開催する予定です。詳細は当所HPまたはまちづくり支援課(TEL:025-223-6272)までお問合せください。

インボイス制度の概要と実務対応講習会 10月31日（参加者58名）

(株)ライフプロデュース フツ ヒトシ 振田 仁 代表取締役を講師に招き、インボイス制度の概要と実務対応について学びました。消費税の基本からインボイス制度の概要やスケジュール等について説明があり、「売上先が消費者または免税事業者・簡易課税制度を選択している課税事業者であれば適格請求書を発行する必要はない」など、制度のポイントについて解説がありました。

インボイス制度が導入される予定の令和5年10月1日にインボイス発行事業者登録を受けることを希望する場合は、原則として令和5年3月31日までに登録申請書を提出する必要があります。

雪国で育つバナナを見学～柏崎視察研修会～ ～女性会～ 10月21日（参加者13名）

柏崎市にあるシモダ・ファームと原酒造(株)を訪れました。

シモダ・ファームでは産業廃棄物焼却施設で発生する排熱をハウスに供給し、生育に適した温度で栽培された「越後バナナ」の栽培システムについて解説を聞き、実際にバナナ園を見学しました。

また、原酒造(株)では酒蔵を見学しながら、2007年に発生し、甚大な被害をもたらした「中越沖地震」からの復興について説明を受けました。



5年ぶりの開催 ～第14回 古町音楽祭～ 10月22日

古町の商店街組合や当所などで構成される古町音楽祭実行委員会は、「第14回古町音楽祭」を、古町ルフル広場で開催しました。

本イベントは、古町で新しいアーティストや音楽を発掘し、活躍の場を提供してメジャーシーン等で輝いてもらうことで、「古町から羽ばたいた」という商店街のイメージアップにより、まちなかの活性化に繋げることを目的に行われています。

今回は、県内各地から43組の応募があり、厳正な予選審査を勝ち抜いた10組が本戦に出場。二人組によるアコースティックユニット「カタソビ」が見事グランプリに選ばれ、賞金10万円を獲得しました。



ゴルフと旅行を満喫！ ～商工クラブ～ （理事長 南波秀憲副会頭）

新潟商工会議所会員の親睦団体である商工クラブは、10月6日にゴルフ大会、10月20～21日にかけて秋の旅行を開催しました。

ゴルフ大会は紫雲ゴルフ倶楽部にて20名の参加で、プレーを楽しみ、優勝は福田道路(株)の河江 芳久 氏、準優勝は(株)興和の池野 正志 氏という結果でした。

秋の旅行では、栃木県那須町的那須湯元温泉近くの殺生石を訪れたほか、世界遺産日光の社寺で知られる日光東照宮と輪王寺を参拝し、秋の自然や観光地を存分に満喫した旅となりました。



古町花街の魅力を発信 ～古町芸妓お昼の舞鑑賞会～ 10月29日（参加者182名）

古町芸妓の周知及び古町花街の魅力発信を目的に、「古町芸妓お昼の舞鑑賞会」を市民プラザにて開催しました。（新潟市・新潟三業協同組合との共催）

はじめに日本料理店行形亭代表取締役の行形和滋氏が「古町芸妓の舞台としての料亭」と題して講演を行い、江戸時代から続く古町芸妓の歴史や、料亭との関わりなどについて紹介しました。

そのあとの芸妓の舞では、12名の芸妓があでやかな着物姿で、唄や踊りの解説をしながら、「越後獅子」「米山甚句」「四季の新潟」などの新潟らしい演目を7



曲披露しました。

参加者からは、「普段なかなか見ることのできない古町芸妓の舞を間近で見ることができ、貴重な体験となった」などの声が寄せられました。